

取付 説明書

警告 電気製品は安全のための注意事項を守らないと、火災や人身事故になることがあります。

この取付説明書および接続説明書、取扱説明書には、事故を防ぐための重要な注意事項と製品の取り扱い方を示しています。この取付説明書および接続説明書、取扱説明書をよくお読みのうえ、製品を安全にお使いください。お読みになったあとは、いつでも見られるところに必ず保管してください。

取り付けはお買上げ店に依頼する
本機の取り付けは車種や年式により異なり、専門知識が必要です。万一、ご自分で取り付けるときは、この取付説明書および接続説明書、取扱説明書に従って、正しく取り付けてください。正しい取り付けをしないと、火災や感電または自動車の損傷の原因となります。

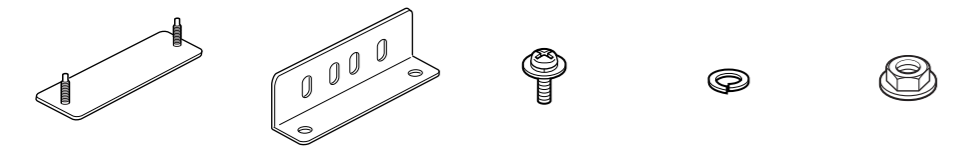


NVX-FW1

Sony Corporation ©1998 Printed in Japan

取り付け部品

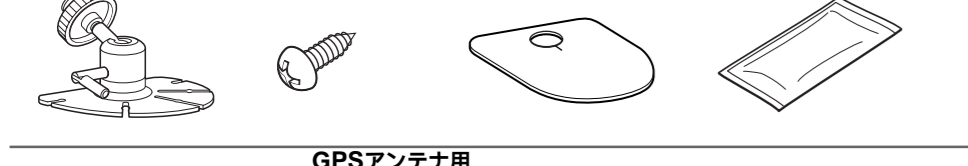
地図ディスクプレーヤー用
① 取り付け金具×2 ② 取り付け金具×2 ③ ネジ×5 ④ ワッシャー×4 ⑤ ナット×4 (予備1含む)



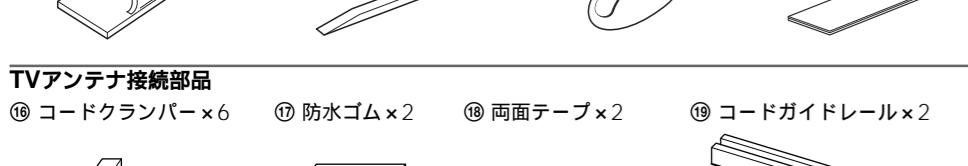
TVチューナーユニット用
*マジックテープ×2 (かんたん取付用) ⑥ マジックテープ×2 ⑦ FMトランスミッター用両面テープ×2



モニター用
⑧ スタンド ⑨ 固定用ネジ×3 ⑩ スタンドカバー ⑪ クリーニングクロス



GPSアンテナ用
⑫ コードクランパー×3 ⑬ クッション ⑭ コードクランパー×5 ⑮ 両面テープ



TVアンテナ接続部品
⑯ コードクランパー×6 ⑰ 防水ゴム×2 ⑱ 両面テープ×2 ⑲ コードガイドレール×2



⑳ クリーナー液 ㉑ 不織布 **リモコン用** ㉒ リモコンホルダー ㉓ 両面テープ



ソニー株式会社 〒141-0001 東京都品川区北品川6-7-35
お問い合わせはお客様ご相談センターへ
●東京(03)5448-3311 ●名古屋(052)232-2611 ●大阪(06)6539-5111



警告 安全のために

警告表示の意味
「取り付けと接続」および取扱説明書、製品では、次のような表示をしています。表示の内容をよく理解してから本文をお読みください。
警告 この表示の注意事項を守らないと、火災・感電などにより死亡や大けがなど人身事故の原因となります。
注意 この表示の注意事項を守らないと、感電やその他の事故によりけがをしたり自動車に損害を与えたりすることがあります。

注意を促す記号



行為を禁止する記号



警告 火災 感電
下記の注意を守らないと**火災・感電**により**死亡や大けが**の原因となります。

本機はDC12Vマイナースアース車専用です
大型トラックや寒冷地仕様のディーゼル車など、24V車で使用すると火災などの原因となります。



前方の視界を妨げる場所に取り付けない
前方の視界の妨げになると、事故やけがの原因となります。



助手席用エアバッグシステムの動作を妨げないように取り付け
動作の妨げになる場所に取り付けると、エアバッグが正常に働かず、けがの原因となります。



運転操作や車体の可動部を妨げないように取り付け

運転の妨げになる場所、車体の可動部の妨げになる場所に取り付けや配線をする、事故や感電、火災の原因となります。
• ネジやシートレールなどの可動部にコード類をはさみ込まない。
• コード類はまとめる。
• ステアリングやシフトレバー、ブレーキペダルなどが正しく操作できることを確認する。



雨、水がかかる場所、湿気、ほこりの多い場所には取り付けない
上記のような場所に取り付けると、火災や感電の原因となります。

注意 下記の注意を守らないと**けが**をしたり**自動車に損害**を与えたりすることがあります。

安定した場所に取り付ける
振動の多いところや、天井などに取り付けると、製品が動く、落ちるなどにより、事故やけがの原因となることがあります。

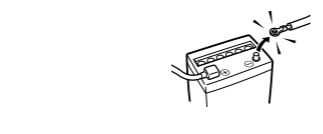


TVアンテナは車体からはみ出さないように取り付け
歩行者などに接触し、事故の原因となることがあります。

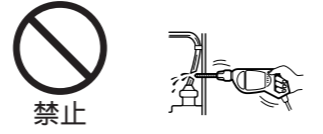


付属の部品で正しく取り付ける
他の部品を使うと、機器の内部を傷つける、しっかり固定できないなどで、火災やけがの原因となることがあります。

配線作業中は、バッテリーのマイナス端子をはずす
マイナス端子をつないだまま作業をすると、ショートにより感電の原因となります。

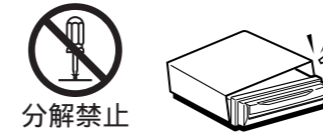


パイプ類、タンク、電気配線などを傷つけない
火災の原因となります。車体に穴を開けて取り付けるときは、パイプ類、タンク電気配線などの位置を確認してください。



ステアリングやブレーキ系統、タンクなどにある車の性能を維持するための部品を使わない
車体のボルトやナットを利用するとき、ステアリングやブレーキ系統、タンクなどの部品を使うと、制動不能や火災の原因となります。

分解や改造をしない
火災や感電、事故の原因となります。電源リード線の被覆を切って、他の機器の電源を取ると、リード線の電流容量を超えてしまいます。内部の点検や修理はお買い上げ店またはソニーサービス窓口にご依頼ください。



規定容量のヒューズを使う
ヒューズを交換するときは、必ず電源コードのヒューズケースまたは本体に記された規定容量のアンペア数のものをお使いください。規定容量を超えるヒューズを使うと、火災の原因となります。



本機の通風口や放熱板をふさがない
フロアカーペットの内側やマットの下などに設置して通気口や放熱板などをふさぐと、内部に熱がこもり、火災などの重大事故の原因となります。

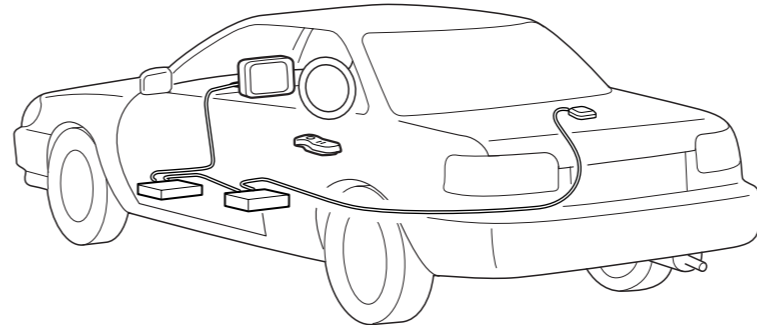


アンテナは確実に両面テープで固定する
車体や歩行者などに接触し、事故の原因となることがあります。



取り付けの前に

設置しようとする場所に置いてみて、操作のしやすさを確認してください。

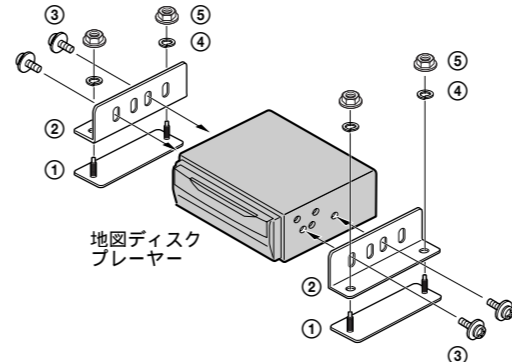


ご注意
次のような場所への取り付けは避けてください。
• 高温になる場所。
• 直射日光が当たる場所、ヒーターの熱風を直接受ける場所など、温度が極端に高いところ。

地図ディスクプレーヤーの取り付け

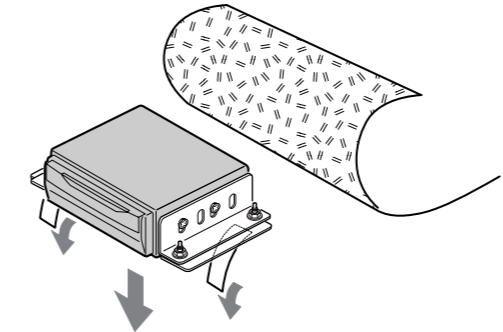
助手席の下やトランクルームなどに取り付けます。横置き位置で水平20°以内に、また、地図ディスクの出し入れが容易な所に取り付けてください。

1 地図ディスクプレーヤーに取り付け金具を仮止めする。

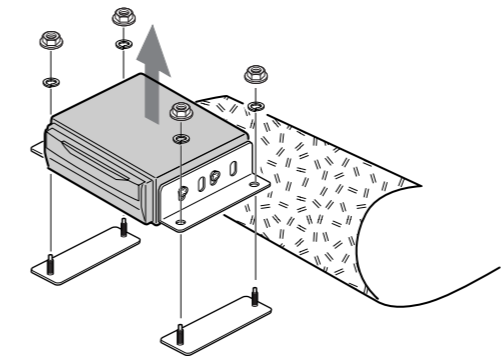


2 カーペットを外して金具を固定する。

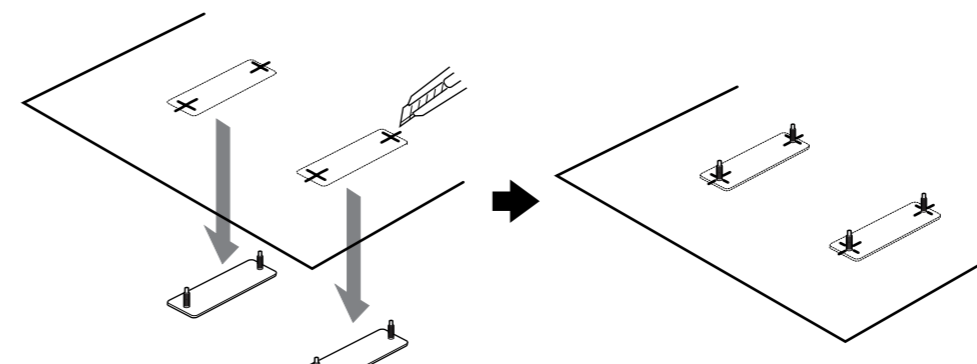
取り付け面をきれいにしてから取り付けてください。



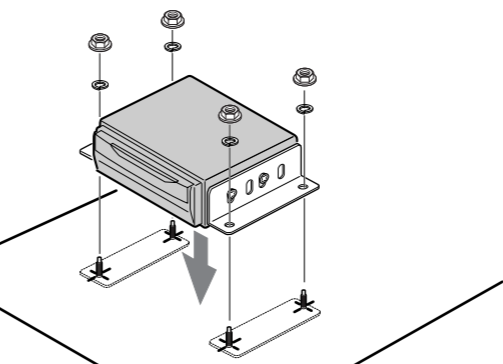
3 地図ディスクプレーヤーを取り外す。



4 カーペットに穴をあけてかぶせる。



5 地図ディスクプレーヤーを固定する。

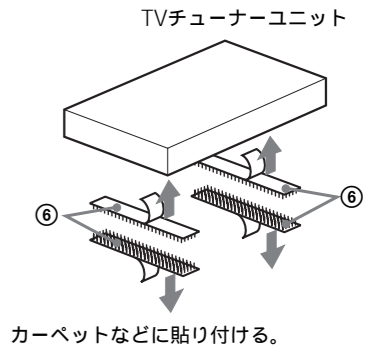


ご注意
必ず付属のネジ⑨で取り付けてください。他のネジを使用すると故障の原因になります。

TVチューナーユニットの取り付け

助手席の下などに取り付けてください。
ご注意
• 直射日光が当たる場所、ヒーターの熱風を直接受ける場所など、温度が極端に高いところへの取り付けは避けてください。
• ナビゲーションシステムと組み合わせてお使いになるときは、TVチューナーユニットと地図ディスクプレーヤーは、できるだけ離して設置してください。ナビゲーションシステムの近くに設置するとテレビ画像に影響が出る場合があります。

マジックテープ⑥でカーペットなどに取り付ける。
取り付け面をきれいにしてから取り付けてください。



FMトランスミッターアンテナの取り付け

運転の妨げにならない場所に取り付けてください。コードは乗り降りの妨げにならないように処理してください。

両面テープ⑦でカーアンテナ(FM/AM用)の近くに取り付ける。
取り付け面をきれいにしてから取り付けてください。

ご注意
• 取り付けるときは、電源をOFFにしてから行ってください。
• 放送局の送信アンテナに近い場所や、車両のFMアンテナの位置によって、また、断熱ガラスを用いた車両では良好に受信できない場合があります。
• 出力はステレオです。

取り付けたら(動作確認について)

次の手順でカーオーディオからテレビの音声が聞こえることを確認してください。

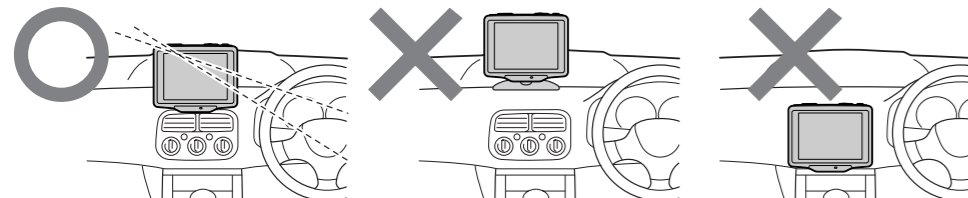
- 1 モニターのPOWERスイッチを入れる。
 - 2 FMチューナーの電源を入れる。
 - 3 周波数を合わせる。
- FMトランスミッター周波数切り換えスイッチで、設定した周波数(76.7MHzまたは78.7MHz)に合わせます。
詳しくは、テレビ用の取扱説明書の「カーオーディオで音声を聞く」をご覧ください。

モニターを取り付ける前に

モニターは、安全性を重視して設計されております。正しい位置に確実に取り付けを行わないと、事故の原因となり大変危険です。取り付けの前に、必ず下記事項の確認を行ってください。助手席用エアバッグシステムの動作を妨げないように取り付けてください。

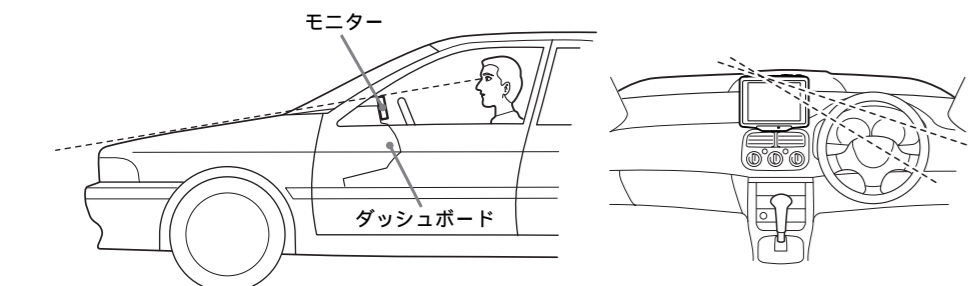
取り付け位置

前方視界を妨げることがなく、また運転中極端に視線を動かさずすむように、ダッシュボードのなるべく高い位置に取り付けてください。



取り付け位置のポイント

- 運転者から見たときに、モニターがボンネットの先端より上に出ない。
- 極端に目線を下げる位置に設定しない。

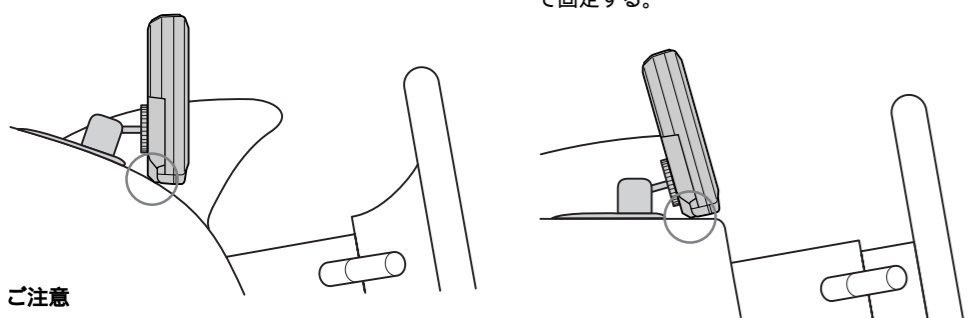


取り付け例

車の振動などによるぐらつきを防止するため、モニターの底面がダッシュボードに接触するように取り付けてください。

ダッシュボードが曲面の場合

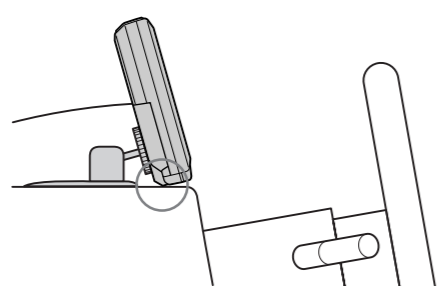
モニター底面をダッシュボードにあてて固定する。



ダッシュボードが平面の場合

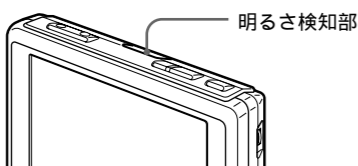
ダッシュボードが平面の場合

モニター底面をダッシュボードの平面にあてて固定する。



ご注意

- モニターは極端に低温または高温になる場所には取り付けないでください。(キャビネットの変形や液晶パネルの故障の原因になります。)また、直射日光下の車内はかなりの高温になりますので、日光が直接当たらないようにしてください。
- モニターを取り付けるときは下記の明るさ検知部を覆ったり、ふさいだりしないよう取り付けてください。



GPSアンテナの取り付け

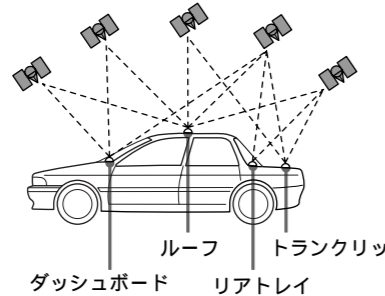
車外に取り付ける場合

GPSアンテナは、GPS衛星の電波が車のボディなどで遮られない場所(車外のルーフやトランクリッドなど)に、水平に取り付けてください。

GPSアンテナは磁石で取り付けます。取り付けるときは、ボディを傷付けないように静かに置いてください。

アルミやFRPボディの車に取り付ける場合

アルミやFRPボディの車には磁石で取り付けられませんので、車内に取り付けてください。

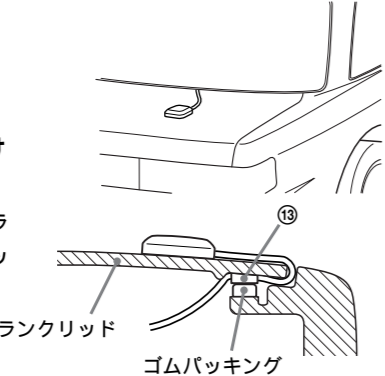


1 トランクリッドなどの上に取り付ける。

取り付け面をきれいにしてから取り付けてください。

2 トランクリッドの裏側に、クッションを取り付ける。

雨水がコードを伝わって車内に侵入しないように、トランクリッドを開めたときに、ゴムパッキングの上にクッション⑬が当たるように取り付けてください。



ご注意

- コードを車外でたまたまにしないでください。
- コードを固定するときは、必要に応じて付属のコードクランパー⑭をご使用ください。
- 取りはずすときにコードを引っ張らないでください。磁石が強力なため、コードが抜けることがあります。
- 自動洗車機で洗車するときは、アンテナを外してください。アンテナが外れて車のボディを傷付けることがあります。
- GPSアンテナケーブルは、GPSの信号とGPSアンテナへのDC電源が通っています。配線にあたっては、車体可動部へのかみ込みにご注意ください。ケーブルを破損すると、GPSアンテナおよび本体(地図ディスプレイ・ヤー)の故障の原因となります。

モニターの取り付け

「モニターを取り付ける前に」の項目をご覧のうえ、設置しようとする場所で正しい取り付けができることを確認してから取り付けを行ってください。

1 ダッシュボードの形状に合わせて、スタンド⑩を曲げる。

曲げすぎて、スタンドが浮かないようにご注意ください。

2 クリーニングクロス⑪で取り付け面の汚れを取る。

3 両面テープのはくり紙をはがし、貼り付ける。

ご注意

- 取り付け面の表面温度が低い(20℃以下)と両面テープの接着力が弱くなるので、ヘアドライヤーなどで温めてから貼り付けてください。また、24時間以上経ってからモニターの取り付けを行ってください。
- 取り付けたあとに両面テープをはがすと、接着力が弱くなり危険です。十分に位置を決めてから確実に取り付けてください。
- 取り外すときは、取り付け面を温めてからゆっくりはがしてください。

4 固定用ネジ⑨で固定する。

ご注意

取り付けた状態でネジの先端がダッシュボード内部の配線などに当たっていないことを確認してください。

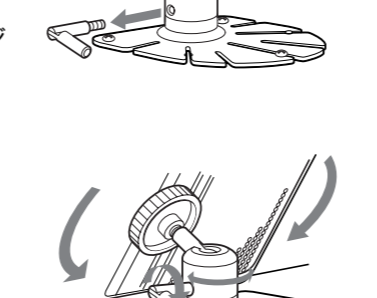
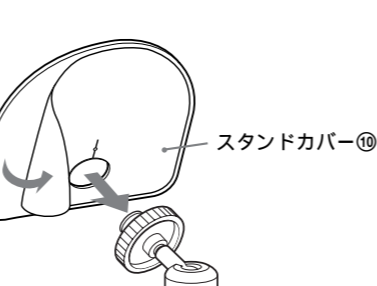
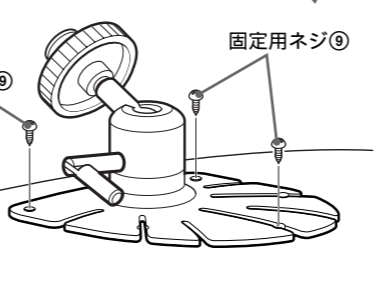
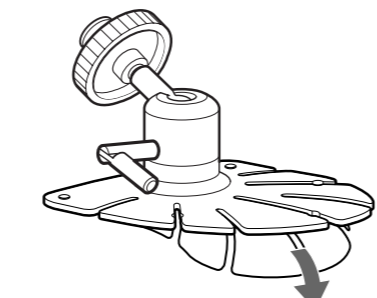
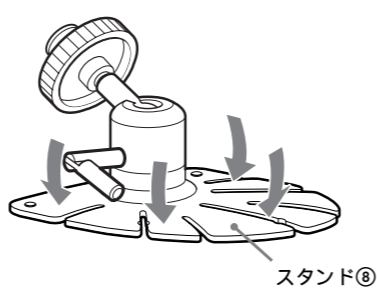
5 スタンドカバー⑫を接着する。

6 モニター背面のみぞにスタンドのネジを差し込み、高さを決める。

車の振動によるぐらつきを防止するため、モニターの底面がダッシュボードにあたるように高さを調節してください。調節後はネジを締めて固定します。

7 レバーをゆるめて角度を調節する。

調節後はレバーをしっかり締めて固定します。



TVアンテナについて

取り付けの前に

- 必ずリアウィンドウに取り付けてください。
- 車のラジオ用アンテナや、パーソナル無線、アマチュア無線、自動車電話などのアンテナから離して取り付けてください。近くに設置すると、他のアンテナの影響を受ける場合があります。
- エレメントが車体より出ない所を選んでください。目に当たるなどして大変危険です。
- なるべく平らな部分に貼り付けてください。ガラス曲面がきついと、はがれる危険があります。
- 湿気の高いとき(雨、霧など)は、貼り付け面を十分に乾燥させてください。取り付け面に水気があると、接着力が低下し、はがれる危険があります。
- 取り付け面の温度が低いときは、接着力を上げるため、車内ヒーター、リアウィンドデフォッガー、ヘアドライヤーなどを利用して、温めてから貼り付けてください。
- アンテナの左右を確認して取り付けてください。

取り付けたら

- すぐに走行しても問題はありませんが、24時間は水をかけたり、雨にあてたり、無理な力を加えないでください。
- 走行前に、確実に固定されていることを必ず確認してください。
- 取り付け後は、取り付け状態を時々点検してください。
- 自動洗車機の使用は避けてください。
- アンテナ本体、エレメント、ケーブルをアルコール、ベンジン、シンナー、ガソリン、ワックスなどで拭かないでください。(変形、破損の原因になります。)
- 次のような場所では、映りにくくなります。
 - ビルとビルの間
 - 高圧線、送電線付近
 - 飛行機が近くを飛んでいる場合
 - 電車が近くを走行している場合
 - 山中や放送局から遠い場所
 - トンネル内
 - ラジオ放送、アマチュア無線局の送信アンテナ付近

取り付けかた

1 不織布⑬にクリーナー液⑭を染みこませ、貼り付け面に付着している油、ワックス、ほこりなどの汚れを拭きとる。クリーナー液が乾いたら水で洗い流し、乾いた布で乾拭きする。

2 アンテナから取り付け金具をはずし、貼り付け面に合わせて折り曲げる。

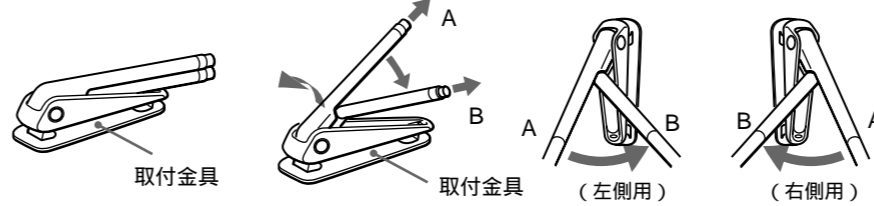
取り付け金具と貼り付け面の間にすき間がないことを確認してください。

3 取り付け金具裏面のはくり紙をはがして貼り付ける。

接着面に手を触れたり、貼り直しをすると接着力が低下しますのでご注意ください。

アンテナの使いかた

アンテナ本体を起こしてから、エレメントAおよびBの各段をいっぱいにはし、エレメントBを内側へ倒します。(取り付け場所によってはアンテナの性能が劣化する場合があります。)



リモコンの取り付け

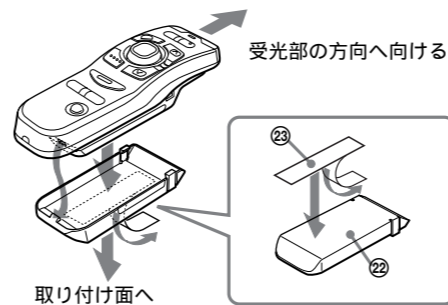
シフトレバーの脇などの操作しやすい場所に固定してください。

ご注意

- 次のような場所への取り付けは避けてください。
 - シフトレバーや、サイドブレーキなどの操作の妨げになること。
 - 運転席、助手席のシートの前後、上下など可動部の妨げになること。
 - ダッシュボードの上やハンドルの上など、直射日光の熱によって変形するおそれのあるところ。

リモコンと受光部が向き合うように、両面テープで取り付ける。

クリーニングクロス⑩で、取り付け面をきれいにしてから取り付けてください。



ご注意

直射日光下ではリモコンの信号が受信されにくくなります。このようなときは、受光部にリモコンを近づけて操作してください。

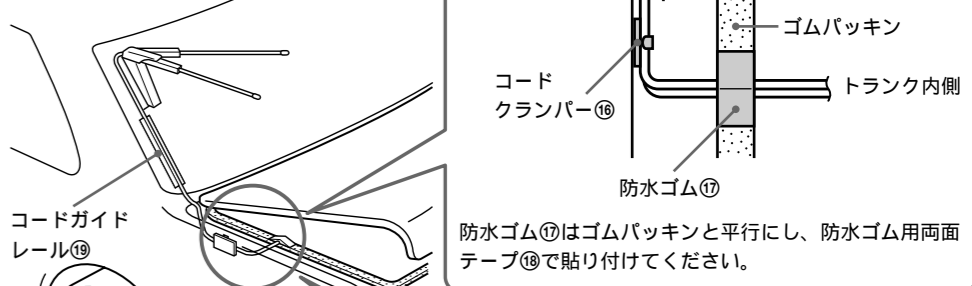
アンテナコードの配線

配線をする前に

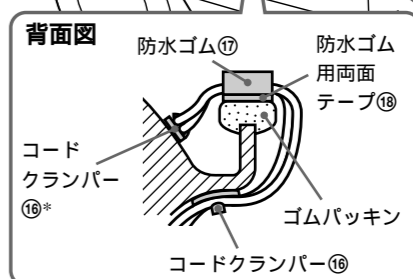
- アンテナコードの配線位置は、高熱部を避けてください。
- 車の雑音を受ける場合がありますので、コードは車側の配線類から離して設置し、配線処理も確実に行ってください。

雨水などの侵入を防止するため、コードの車室内への配線には十分注意してください。

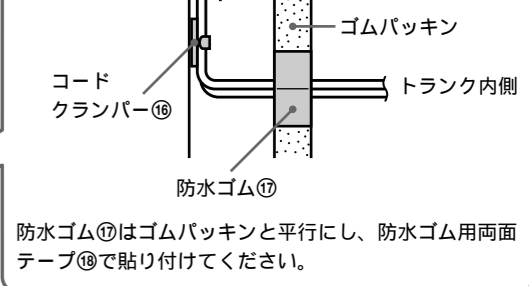
ケーブルの配線図



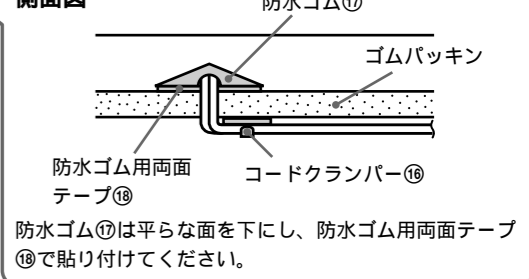
背面図



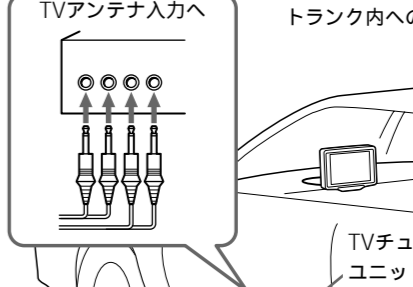
上面図



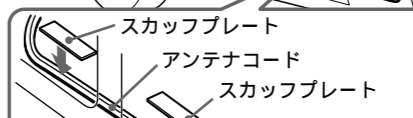
側面図



TVアンテナ入力へ



* このコードクランパーは必ず防水ゴムより低い位置に取り付けてください。トランク内への水漏れの原因となります。



スカッフプレートを外し、フロアカーペットの下に引き回してください。



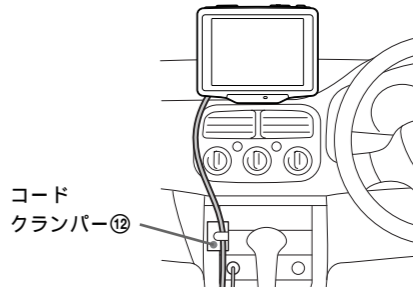
シート下にテープで固定するリアシートクッション部

取り付けと接続が終わったら

コードの処理について

取り付けと接続が終わったら、コードは運転の邪魔にならないようにまとめてください。コードがシフトレバーなどにかかると、非常に危険です。

1 助手席側にコードクランパー⑭で固定する。



2 車のキーをACCまたはONの位置にして、地図ディスプレイ・ヤーのリセットボタンをボールペンの先などで押す。

